

## 安全な範囲の放射線被曝

次がレベルDの被曝<sup>ひばく</sup>です。ここからは安全という視点から分類しています。Dの被曝<sup>ひばく</sup>は「やや安全です」ということです。このレベルの被曝<sup>ひばく</sup>を受けても安全です。量的にいうと、病院の検査で受けるようなレベルです。すなわちバリウムを飲んで行う胃の検診<sup>けんしん</sup>とか、あるいはCTといって、体の組織<sup>くわ</sup>を詳しく調べる技術があります。あの被曝<sup>ひばく</sup>がレベルDです。だから危険ということではありません。このレベルの被曝<sup>ひばく</sup>を受けたとき、安全な範囲<sup>はんい</sup>にあると理解してください。数字でいうと、1/100シーベルト以下の線量になります。

私たちは太陽光に当たります。夏場の太陽に海水浴でずっと当たっていると皮膚<sup>ひふ</sup>もやけどしますね。これは当たりすぎということで、皮膚<sup>ひふ</sup>にとってはレベルBの被曝<sup>ひばく</sup>になってしまうんです。でもまったく太陽光に当たらないでずっと日陰<sup>ひかげ</sup>にいる、1年中まったく太陽光に当たらないと、それはまた体に良くないわけです。

レベルDやEの範囲<sup>はんい</sup>で太陽光も浴びていないと体に悪いです。放射線<sup>ほうしやせん</sup>は何かのプラスになっているかも知れない

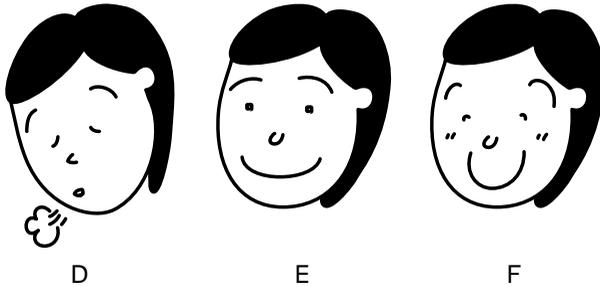
という研究もあるくらいです。これはまだはっきりと解明されてはいません。

けれども、核放射線かくほうしやせんというのは宇宙のどこに行っても存在そんざいしてしまっていて、ないところはないくらいです。太陽が出ているのも核放射線かくほうしやせんです。放射線ほうしやせんとは何だと聞かれると、エネルギーであると、私は答えています。だから、宇宙にエネルギーがあるということは、放射線ほうしやせんがあるということになります。

次にレベルEです。Eは安全レベルということですから。数字でいうと、1/1000シーベルト以下の線量になります。私たちは日本で暮らしていると、地面からのガンマ線の被曝ひばくを恒常的こうじょうてきに受けています。さらに宇宙から来る放射線ほうしやせんも受けています。その年間線量がおよそ1/1000シーベルトです。

こういう核放射線かくほうしやせんの被曝ひばくを受けて、私たちは生まれて育っていくわけです。もともとこのレベルEの自然放射線しぜんほうしやせんを私たちが受けて生命が誕生して、進化して今も存在しているのです。だからこのくらいの被曝ひばくは安全だというのは間ま違ちがいではないでしょう。

このレベルE、1/1000シーベルト以下というのは、国際放射線防護委員会こくさいほうしやせんぼうごいいんかいというのがありまして、そこが推奨すいしょうしている値ちです。すなわち放射線ほうしやせんを使う施設しせつ、事業所しきちの敷地境界きよかいの被曝線量ひばくせんりょうが1年間、そこに24時間立ち続けた、まあそんな人は絶対ないわけですが、もし万一立ち続けて



いたとして、受けた放射線ほうしやせんは法律でレベルE以下になるように事業所は管理しなさいといわれているわけです。ということもありましてEのレベルは「安全である」というふうに理解できます。自然放射線しぜんほうしやせんくらいの被曝ひばくだということです。

被曝線量区分ひばくせんりょうは、まったくこのレベルEまでで十分なんですけれども、私はFのレベルというのも考えました。顕著けんな人工核放射線じんこうかくほうしやせんがないということです。今の広島、あるいは長崎ながさきの爆心地ばくしんちはこのレベルFです。チェルノブイリはどうか、よそはどうかという話は後でしますけれども、広島はレベルFにあるということを、今理解して覚えてください。私がいろいろなところを調べて、原爆ドームげんばくのなかまで入って調べましたので、自信を持っていえます。ということで今日の学習における大事な区分のひとつが、線量レベルの区分でした。

先ほどいった話、女性のみなさんに覚えておいてほしい

のですが、もちろんご主人方も知っていたほうがいいと思いますが、レベルC以上の被曝<sup>ひばく</sup>だと胎児<sup>たいじ</sup>への影響<sup>えいきょう</sup>が出る可能性があります。言葉を逆にしますと、レベルD以下では、そのような胎児<sup>たいじ</sup>影響<sup>えいきょう</sup>はないんだと理解してください。レベルD以下がより大事です。このレベルでは胎児<sup>たいじ</sup>への影響<sup>えいきょう</sup>がないということを知ってください。

一方、「妊娠<sup>にんしん</sup>を知らずに胸部レントゲン写真<sup>と</sup>を撮ったけど大丈夫か」とか「CT<sup>と</sup>を撮ったけど大丈夫か<sup>だいじょうぶ</sup>」という質問が出るんですけども、大丈夫、こういうことは心配ないと理解してください。ただし、妊娠中<sup>にんしんちゆう</sup>はできれば放射線<sup>ほうしやせん</sup>の検査はひかえてください。